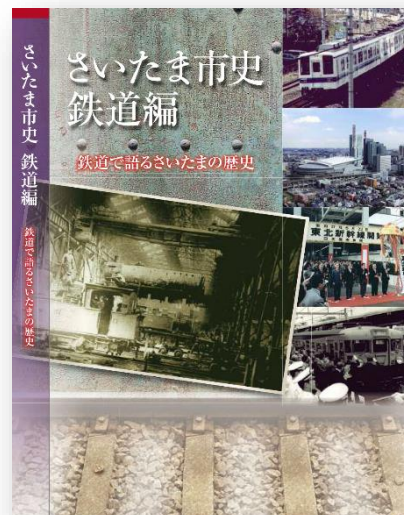


☆公開シンポジウム☆ 『さいたま市史 鉄道編』をめぐって

このたび、さいたま市から『さいたま市史 鉄道編 鉄道で語るさいたまの歴史』が刊行されました。それを記念して、鉄道博物館「てっぱくホール」にて、さいたま市の鉄道史を考えるシンポジウムを開催いたします。参加自由ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。



【日時】2017(平成29)年6月3日(土) 13:30~17:00

【会場】鉄道博物館 てっぱくホール

【主催】首都圏形成史研究会 【共催】鉄道博物館／鉄道史学会

【参加費】無料 ※ただし、鉄道博物館の入館料が必要となります。

報告① 老川慶喜 (跡見学園女子大学)

鉄道のまち「大宮」の誕生

報告② 高嶋修一 (青山学院大学)

戦前期の都市化と鉄道—京浜東北線開業前後のさいたま市域—

報告③ 岡部桂史 (立教大学)

大宮工場の成立と発展—日本鉄道から国鉄へ—

報告④ 栗田尚弥 (沖縄東アジア研究センター)

戦時期の鉄道—埼玉県の場合—

報告⑤ 恩田陸 (弘前大学)

高度成長期の鉄道と新幹線問題

コメント 嶋理人 (秀明大学)

司会 吉田律人 (横浜開港資料館) / 手塚雄太 (國學院大學)